

You & The Night & The Music

2022 / 10 / 7 (Friday)

Vocal: あさばみほ / 金井優佳 / 村本玲奈

Piano: 若宮功三 Drums: 吉田和雄

Guitar: 越田太郎丸 Bass: 山根幸洋

Sax.Flu: 羽根遡道広

Music charge ¥6,000.- / Pre sale ¥5,500.-

1st 19:00~ (2 stages Throughout) ※時間変更有



東京都渋谷区桜丘町26-1セルリアンタワー
東急ホテル2階

予約 / 問合せ 03-5728-0168



<https://reyna-tokyo.jimdofree.com/>

Produced by J music

Musicians

あさば みほ (P, Vo) 長野県出身 ジャズピアノを福田重男、村尾陸男氏に師事。その後、漫画家でJazzボーカルの水森亜土にスカウトされ「未来劇場」に入団。2007年ベガミュージックエンターテイメントより、ベーシスト水野正敏氏プロデュースのファーストアルバム「MOHO NOVA」をリリース。2016年T-TOCレコードより、CDデビュー10周年記念、初セルフプロデュースアルバム「そよ風に吹かれて～Blowin' in the wind～」をリリース。2022年2月、ギタリスト平岡遊一郎のプロデュースでアルバム「Doodlin'」をリリース。今後の活動が注目される。

金井 優佳 (Vo) 東京都出身 デビュー20周年を機に2020年からUを改め本名の金井優佳として活動を開始。～心に幸せの音符を～をコンセプトに、ジャンルにとらわれず幅広く歌う。東京、横浜を中心に年間約150本のライブに出演。ソロ活動のほかに、東京キューバンボーイズ、コンサートマスタートロンボーン大高寛氏がリーダーの正統派ラテンバンド、オルケスタ・カリビアンブリーズのメンバー。ダンシングオールナイト作詞家、水谷啓二氏がリーダーを務めるR&BバンドK-FUNKのメンバー。CD7作品リリース。アルバム「運命の詩」は尊敬する「マザー・テレサ」の言葉にメロディーをつけた作品で、今後のライフワークとしてマザー・テレサ女史の言葉を歌い広めることを開始した。元客室乗務員という経歴を持つ。

村本 玲奈 (Vo) 兵庫県出身 関西のテレビ番組アシスタント、司会、ミュージカル出演がきっかけでスカウトされ、芦部真梨の名前で歌手デビュー。東芝EMIより、芦部真梨子で日本テレビアニメの主題歌「ガラスの仮面」でゴールドディスク受賞。大都市を中心にコンサートツアーを行う。この間、シングル3枚、アルバム2枚を発表。本格的なジャズシンガーを目指し、村本玲奈に改名、ライブハウスを中心に活動を始める。ジャズベーシストStan Gilbertプロデュースのもと、L.A.にて制作したセカンドアルバム「Sings In L.A. For You」を発表。L.A.にてライブも行う。ジャズクラブシーンの第一人者である須永辰緒Compiled CD「Miss Vocalines,TOKYO」に「It's you」が収録される。5枚目待望のニューアルバム「Liberdade」を発表。ブラジル録音には、ブラジルのトップアーティスト、ジョイス、ジャキス・モレレン・パウムらも参加！「Wave」、日本の名曲「ふるさと」他、玲奈オリジナル曲「Liberdade」収録。

若宮 功三 (P, Key) 兵庫県出身 デビット・サンボーン、スティーブ、ガット、ウィル・リー、シーラ・レイチャールズ・ミンガスオーケストラ、その他数々の全米を代表するミュージシャンとのアルバム制作。国内では、阿川泰子、あおい輝彦、麻丘めぐみ、尾崎紀世彦、森口博子などコンサートツアーのアーレンジ&ピアノ。上田正樹、五輪真弓、西城秀樹、研ナオコ、TARAKO、門倉有希、小椋佳、ペドロ&カプリシャス他、アーティストの音楽活動をサポート。新人、ベテランを問わずプロデュースやアルバム制作、演奏、ライブハウス、ホテルのイベント等に出演している。

山根 幸洋 (B,Cho) 東京都出身 2011年、小野リサのアジアツアーに参加、2014年、ブラジルリオデジャネイロでJoyce、サンパウロでFilo Machadoと共に演奏するなど海外での活動も精力的に行う。2017年1月、ピアノインストプロジェクト'SANOVA'として Victor Entertainmentよりデビューし、これまでに5枚のAlbumをリリース。iTunesのジャズランキングのアルバム、ソングの1位を獲得。日本テレビ系列「news every」、テレビ朝日系列「熱闘甲子園」など数々のタイアップを獲得し、注目を集める。2019年から石井竜也(米米CLUB)のコンサートに参加。

吉田 和雄 (Dr,Cho) 埼玉県出身 子供のころから囃子を学ぶ。高校時代に「ボサノヴァ・ブーム」が到来、そのリズムに魅せられて大学在学中にドラムを学んだ。ブラジル音楽に傾倒した「Spick & Span」を結成、11枚のアルバムをリリース。プロデューサーとしては、ボサノヴァシンガーの小野リサを世に送り出し、南佳孝やブラジルのスター、ジョイス、カルロス・リラ等も手掛ける。まさにブラジルと日本の架け橋的存在で、71回の渡伯経験を持ち、2018年9月には日本人では初めて、ブルーノート・リオに出演。現在、「トキオ・ボッサ・トリオ」、「バンドラム」を主宰、いずれも新作アルバムを発表した。

越田 太郎丸 (G,Cho) 東京都出身 ボサノバとクラブミュージックを融合させたユニット『Prismatica』の1997年にCDデビューしベスト盤を含む7枚のアルバムをリリース。アントニオ・カルロス・ジョビン、トニーニョ・オルタ、などブラジルのアーティストから作曲、編曲、奏法の影響を受けブラジル音楽を軸に演奏活動を展開。辛島美登里、石丸幹二、葉加瀬太郎など様々なアーティストのライブサポートやレコーディングに参加。『Prismatica』のほか『Bossa do Mago』『森』などのバンドにも参加し作曲・編曲を手掛ける。ピアニスト榎原大とのデュオ『男子二楽坊』やピアノソラ作品をピアノソラスタイルで演奏するタンゴバンド『TANGO OGNAT』は全国的にファンも多い。2018/6/20にガットギター独奏によるアルバム"Twenty Years"をリリース。

羽根 道広 (Sax,Flu) 東京都出身 中学時代、吹奏楽部でフルートを手にしバッチャのフルートソナタなどを中心に6年間クラシックを独学する。明治大学入学後、同大学ジャズ研究会に入部。チャーリー・パーカーの演奏に衝撃を受け、Alto Saxを始め、その後、ハック・モブレイ、スタン・ゲッツなどの影響を受けTenor Saxに転向。2003年、オリジナル曲を中心に自己のグループを結成。「つくばビッグバンドコンテスト2004」でYAMAHA賞、最優秀ソリスト賞を受賞。2010年、馬場孝喜(ac.gt)とのDuo、“habanero”を結成。Jazz,Soul,R&B, Bossa, Brazilなどの幅広い音楽性とアコースティックな響きで聴く者を魅了する！その他、和田アキ子、谷村有美、宮本信子などのサポート、レコーディングで活動中。